

放課後みっけクラブ特別教室「さけ稚魚放流体験」企画報告書

office ごえん
代表 中野美貴

【日時】 4月21日(水) 学校終了後～17:00

【場所】 学習文化センター研修室、キュウシバツタ川

【内容】 さけ稚魚放流体験

【参加者】 28名/保護者6名/幼児4名(ボランティア5名)地域おこし協力隊1名 合計44名

小学6年生2名、5年生2名、4年生4名、3年生5名、2年生7名、1年生7名、中学生1名(28名内訳)

男女内訳 男子9名、女子19名/幼児(男子1名、女子3名)

【協力】 長万部町教育委員会

【成果と課題】

「さけクイズ」からこれから放流する鮭について、楽しみながら鮭や自然について身近に考えるきっかけがつかめた。幼児も一緒にクイズに参加し、楽しんでいる様子だった。

※さけクイズ…放流した鮭はどのくらいの期間で戻るのか、100尾放流したらどのくらい戻ってくるのかを選択式のクイズで出題

オリエンテーションで、これから行く場所の気を付けるポイント、ルール等を全員で確認し、明確に伝えたので子どもたち同士で注意しあう場面も見られた。

放流場所では、それぞれオリエンテーションでの話を思い出し、それぞれ気を付ける様子が見られた。また高学年は低学年や幼児をサポートする場面も見られた。

風が強く寒かったが、期間が決まっている普段はできない体験だったので、子ども達はとても楽しそうだった。また、川の近くまで下りてアスファルトではなかったのが川の近くの土の感触を楽しんでいた。放流時も約束(魚を触ると魚がやけどするので、コップ越しに観察すること)を守り、それぞれ慎重に放流をしていた。今回初めての放流事業だったのもあり、至らない部分もあったが、子ども達も保護者も貴重な経験ができた楽しそうに話しをしていたのが印象的だった。今後、継続して体験できるように協議していきたい。

《子どもたちの感想》

- ・鮭の赤ちゃん可愛かった！
- ・茶色となんか模様がついてて、見てたら可愛く思えた。
- ・いってらっしゃい！って気持ちでおくったよ！
- ・網に上がってくる鮭って、こんな小さいんだってびっくりした。
- ・放流楽しかった！またやりたい！
- ・思ったよりさけの赤ちゃん小さかった。
- ・次もやるなら参加したい！次はなんの魚？
- ・鮭っていっぱい旅して美味しくなるんだね！
- ・少しでも多く長万部に帰ってきてほしいなあ。
- ・初めて放流をした。貴重な経験ができた。(保護者より)
- ・子ども(児童・幼児)と一緒に参加できて嬉しかった。(保護者より)

《活動の様子》



↑ 静狩さけふ化場

↓ さけ稚魚放流の様子

